



地球暮らし

株式会社さつまホーム
地球やりなおし計画
事務局

発刊準備号

発行日 2005.12.20

ごあいさつ～地球と共に生きよう～

みなさん、はじめまして。さつまホーム企画室の瀧川です。突然ですが、当社には「地球やりなおし計画事務局」なるものが存在します。取り組んでいるテーマは、地球温暖化対策と環境共生住宅の開発です。「地球温暖化」の問題が脚光を浴び始めてからもう20数年経ちますが、その間私たちはいったい何をしてきたらう、何を知っているのたらう、といった反省が、このミニニュースレター「地球暮らし」発刊のきっかけとなりました。

「地球と共に生きる」・・・この当然ながら他に選択肢の無い道を、これからも私たちは歩み続けることができるのでしょうか？私たちは住まいを提供する使命を帯びた者として、微力ではあるけれども、この問題に真剣に取り組んでいきたいと考えています。



地球は本当に暖まってきたのでしょうか？

～気象庁『異常気象レポート2005』より～

結論から書きますと、過去100年の間に、日本の平均気温は約1 上昇しました。「何だ、たった1 なのか」とお思いですか？いいえ、地球にとって「100年で1 」は、私たちの体温が1分ほどの間に1 上がったのと同じくらい、急激な変化なのです。

それでも「なんだ、微熱じゃないか」とお思いですか？でもその微熱が、ずっと下がらずに生涯続くとしたらどうでしょう？今の地球はまさにその状態にあるのです。

1 という温度差は、地球に、気候にとってどれくらいの大きさなのでしょう？例えば今年もかなり暑かったですね。猛暑でした。でも、猛暑と言われた年も「通年の平均気温」という捉え方をすると、平年と比べて1 くらいしか高くないのです。意外に思われるかも知れませんが、「平均気温が1 高い」ことは、気象にかなり大きく影響を及ぼすのです。今年国内外で、台風やハリケーンなどによる深刻な被害が相次いだことも、これと無関係ではありません。

最初のお話を思い出して下さい。その「平均気温」が100年前と比べて1 上がったのです。すると、仮に100年前の夏をいわゆる「普通の夏」としたとき、今の日本の夏は「常に猛暑」ということになってしまいますね。

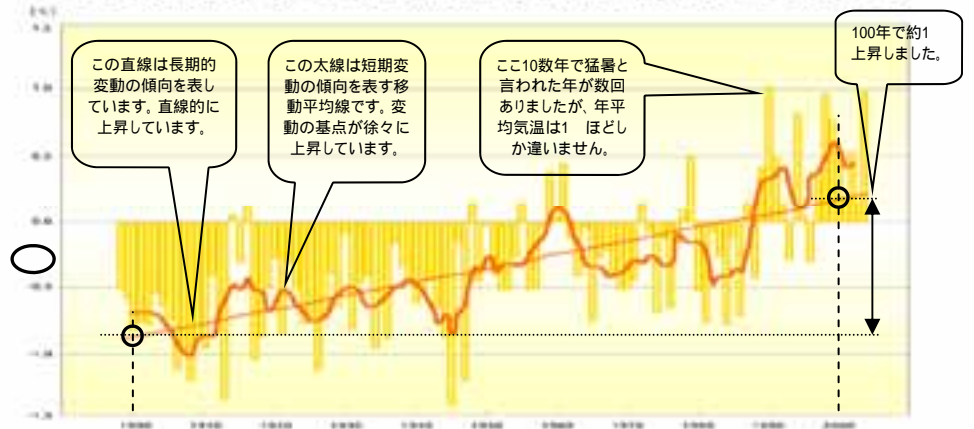
も ちろん、最近でもそれほど暑くない夏、いわゆる「冷夏」はありました。これは数年から10 数年の周期で起こる短期的な気候変動のサイクルがあるためです。この変動サイクルの基点となる温度が1 分底上げされたわけです。この変化は、地球に比べて一生の長さが数億分の1しかない私たちに、実感するのが難しいのですが。

そ れでは地球温暖化の原因は何で、具体的に何が問題になるのでしょうか？その辺の詳細なお話は次号以降順を追ってご紹介させていただきます。

だくことにして、今回のところはこれだけご理解頂ければと思います。地球温暖化の加害者(犯人)は、実はあなたや私を含めた人間であること。そして被害者もまた、私たち自身と、とりわけ私たちの子孫たちであることを。

最後に、さらにショッキングなお話をひとつ、この『異常気象レポート2005』によると、次の100年で大阪の気温は2.4 上昇すると予測されています。200年(人生だと2分)で3.4 の体温上昇。これはもう「微熱」では済まないのです。

日本における年平均気温の変化(1898年～2004年)



トピック

12月は、「地球温暖化防止月間」

平成9年のあの「京都会議(COP3)」の翌年から環境省が定めたものです。「チーム-6%」をはじめ、国民、事業者、行政が一体となって普及啓発事業を始めとする様々な取り組みを行っています。

気候変動枠組条約第11回締約国会議(COP11)開催

去る11月28日から12月9日まで、カナダのモントリオールで開催されました。またこれと併せて、京都議定書第1回締約国会合(COP/MOP1)も開催され、京都議定書発効(今年2月16日)以来初めての国際協議の場として注目を集めました。

情報リンク

気象庁『異常気象レポート2005』の全文

http://www.data.kishou.go.jp/climate/cpdinfo/climate_change/

環境省『地球温暖化防止月間行事概要』

<http://www.env.go.jp/press/press.php3?serial=6600>

チーム-6%のサイト

<http://www.team-6.jp/>

全国地球温暖化防止活動推進センター

<http://www.jccca.org/>

編集後記

トピック欄でご紹介したCOP/MOP1の様子をテレビで見っていました。米国の「わが国は温暖化問題は協議しない」という相変わらずの不遜な態度がとても目について、後味の悪さが残りました。世界中のCO2の1/4以上を排出する世界最大の温暖化大国なのに、です。プッシュ政権には「世界市民の一員」という自覚と責任感が無いんでしょうか？(無いんでしょうね)

このニュースレターに対するご意見、ご要望、投稿をお待ちしております。

Eメール: info@satsumahome.com

FAX : 06 - 6855 - 7700

郵便: 〒560-0053 豊中市向ヶ丘3-11-47

ステップビル3F (株)さつまホーム企画室